

# 招請状

**すべての原発を廃炉へ！ 全国学友は団結し、学生自治会をつくろう！**

**全学連第73回定期全国大会に集まろう！**

2012年7月16日 全学連中央執行委員会(斎藤郁真委員長)

全国学友のみなさん！ 全学連中央執行委員会は、9月5日～6日に開催する全学連第73回定期全国大会への結集を訴えます。大飯原発再稼働への怒りが爆発しています。毎週金曜日の首相官邸前行動では、15万～20万のデモ隊が道路を埋め尽くし、7・16反原発集会では、フクシマを先頭に全国の怒りが首都を席卷しました。歴史的な事態です。行動と変革の時代です。この闘いの先頭に膨大な数の青年・学生が立っています。怒りは一つになり、行動が行動を呼び、闘う中で奪われた誇りを取り戻しています。今こそ全国のキャンパスから「原発再稼働反対！」の声を轟かせ、学生の団結体である学生自治会をつくらう。

一つに、すべての原発を今すぐなくすために、学生は行動を開始しよう。史上最悪の福島第一原発事故は、いまだ「収束」などしていません。高まる怒りが、今年3月11日の郡山集会に1万6千人の結集を実現し、5月5日には「稼働原発ゼロ」をかちとりました。しかし、原発再稼働に固執する野田政権は「原子力村」の利害を体現し、多くの反対の声を踏みにじって大飯原発再稼働を強行しました。絶対に許せません。野田政権の唱える「国民の生活のため」(6月8日会見)とは、「原子力村のため」に他なりません。

核・放射能と人類は相いれません。いまだ16万人の福島県民が避難を余儀なくされ、多くの方々々が故郷や仕事を奪われる中、「フクシマの怒り」と原発は非和解です。その怒りの先頭で、福島大学の仲間が声をあげています。

大学と私たち学生のあり方が問われています。原発政策の中枢を占め、低線量内部被曝を否定して福島を切り捨て、多くの御用学者を生み出してきた大学の中からこそ、「原発絶対反対！」の運動を巻き起こそう。私たち学生には、原発を止める力があります。

二つに、本年6月、京都大学において3千をこえる全学選挙で全学自治会同学会が再建されました。新執行部は、「国立大学法人化によって大学が変質する中で、学生は商品としておとしめられ、とことん収奪の対象とされてきました。資本、国家政策、大学当局の収奪の攻撃に対抗するために、学生は団結体としての学生自治会を持つ」「大学において、圧倒的多数を占めるのは学生です。学生が一つの意志として動いた時に、大学当局にはなすすべがありません。これこそが学生自治の根拠となるのです」「大学の新自由主義的運営に対し、これと対抗できる学生自治会を復権させます。それは、学生が大学運営の責任主体に飛躍するための挑戦をするということです」と訴えています。

小泉構造改革と国立大学法人化(04年～)による「教育の民営化」政策で、学問・教育は大資本の金儲けの手段とされ、学生は高い学費、就職活動、奨学金に苦しめられています。同時に、学生自治会や自治寮の廃止、サークル活動・大学祭への規制など自治破壊・団結破壊も推し進められています。この大学の腐敗を鮮明に突き出したものが、「原発翼賛大学」と「御用学者」の姿でした。

この現実に対して京大の仲間が団結を甦らせて闘い、学生自治会をつくり出していることは大きな展望です。「教育の民営化」営利化が学生の分断によってはじめて成り立っている以上、私たちが一つひとつの矛盾に立ち向かい団結を生み出すことが重要です。京大同学会再建こそ、あらゆる大学で学生自治会は建設できることを証明しています。本大会をその出発点にしよう。

三つに、全国学生の方で法大闘争に勝利しよう。大学当局と警察権力による学内規制「処分」119人の逮捕と33人の起訴に対して6年半にわたって闘ってきた法大闘争は、ついに今年5月31日、「暴処法弾圧での5人全員の無罪判決」という大勝利をかちとりました。4月19日には、市ヶ谷キャンパスで全国集会とデモを行い、一人の学友の不当弾圧をはね返し成功させました。

法大闘争は、文化連盟を軸にする学生の団結によって弾圧ははね返せること、闘えば勝てることを示してきました。これは今、大学祭規制への法大生の反乱として発展しています。法大闘争の「一人の仲間も見捨てない！ キャンパスを学生の手に取り戻そう！」のスローガンは今年、京都大・福島大・沖繩大へ拡大しています。すべての不当処分撤回をかちとろう。全国で法大のように闘おう。四つに、大激動の時代に立ち向かい、学生運動と学生自治会を甦らせる挑戦を開始しよう。未曾有の世界大恐慌は、青年・学生への大失業と非正規職化として襲いかかり未来を奪っています。しかし、資本主義の限界性が明らかに becoming 中、ギリシャ、スペイン、アメリカで、そして日本のJRでもストライキの反撃が始まっています。生きるための闘いと国際連帯が発展しています。大失業は戦争・改憲と一体です。野田政権は原発再稼働や消費増税とともに、沖繩新基地建設とオスプレイ配備を強行しようとしています。沖繩においても8月5日に県民大会が爆発します。

全学連は戦後直後の1948年9月、授業料値上げ反対の全国ストのただ中で発足し、「学問の自由と生活擁護」「再びの戦争反対」のスローガンを掲げました。戦争に反対し生活を守る、そして福島と連帯し原発を止めるという新たな意義のもと、全国学生は団結し闘いに立ち上がろう。社会変革の原動力としての学生運動と学生自治会を甦らせよう。

私たちは本大会で本年9月までの闘いを総括するとともに、「反原発闘争の高揚」「学生自治会の建設」の二大方針を決定します。何よりも、全国学生の団結をつくり出す出発点とします。全国300万学生は、全学連大会に集まろう！

## 大会要項

【日時】9月5日(水)～6日(木)

【会場】東京都内

【参加費】1000円(会場代、資料代など) ※宿泊費は除く

【連絡先】TEL 03-3651-4861 mail\_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp